

知事と区市町村長との意見交換会（大島町）

令和 2 年 11 月 2 日（月）

11 時 00 分～11 時 20 分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○知事 おはようございます。三辻町長、御無沙汰でもないですかね。お元気そうでなによりでございます。

今日は 62 区市町村の皆様方から直接のお話、御要望、そして今後のビジョン等を伺っております。

特にコロナウイルスとの厳しい戦いが続く中で、感染の拡大防止と社会経済活動の両立を図るというウィズコロナの社会を、どのようにして生きていくかが問われるわけであります。

そこで、新しい日常やサステナブル・リカバリーという新しい視点を、構造改革を梃子にして進めてまいって、東京都としての長期戦略の策定を進めているところでございますので、大島の皆様方のお考えや御要望をお聞かせいただければと思います。

短い時間ですが、どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 それでは三辻町長、御発言をお願いいたします。

○大島町長 こんにちは。大島町長の三辻でございます。

本日は小池知事におかれましてはお忙しいところ、コロナウイルス感染症対策等に関する意見交換会の機会を設けていただき、まずは厚く御礼申し上げます。

大島においてコロナ陽性者が発生した際の東京都の素早い対応、また、感染拡大防止協力金や市町村緊急特別交付金の創設。更に東京都独自の GoTo トラベル事業、もっと Tokyo 等、多岐にわたっての様々な支援策を講じていただき、改めて感謝申し上げます。

それでは第 1 のテーマでありますウィズコロナ、アフターコロナを見据えた来年度予算や長期戦略の策定についてですが、現在、感染拡大を予防しながら社会経済活動を回復させ、新たな日常をつくり上げていく挑戦が進められています。

新型コロナウイルス対策の第 2 ステージにおいて重要となるのは、出口戦略の構築であります。終息がいつになるか分からず、先行き不透明なため、打つ手がないのが現状であります。

ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、感染防止対策を図りながら、経済社会活動の推進に努めるための大島町のグランドデザインをどう描くか、苦慮しているところです。

こうした中での来年度予算編成となりますが、新型コロナウイルスの影響による景気悪化のため、町の税収の落ち込みをはじめ、国の地方交付税、譲与税及び各交付金等がかなりの減収となることが想定されます。

また、当町においては、平成 25 年伊豆大島土砂災害復興事業を優先的に取り組まなければ

ばならないため、多額の財源が必要となります。

しかし、昨年の台風 15 号災害復旧事業の影響もあり、財政調整基金等も底をつき、硬直した財政状況となっています。

よって、東京都の市町村総合交付金等の支援に頼るところが大でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次の第 2 のテーマであります、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における都と区市町村との連携強化についてですが、当町の診療所においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、診療収入が前年対比 6,600 万の減額となることが予想され、経営状態を圧迫しています。

そのため、新型コロナウイルス感染症に伴う減収、費用増に対しての財政支援を願いたい。

また、医療関係者が安全に感染症対策に従事することができるよう、人的支援や診療所の感染症対応に伴う設備整備に対しての財政支援や、代替医師の確保体制の整備、PCR、抗原検査キットの十分な配布を願いたい。

なお、人的支援として想定されることは、島しょ保健所職員の拡充、強化、島全体がクラスター状態となった場合に、医療機関スタッフの応援派遣、消防本部職員の応援派遣、それらを願いたい。

続いて第 3 のテーマであります、その他、区市町村における地域の課題についてですが、当町においては平成 25 年の土砂災害復興事業を優先的に取り組んでいるところです。

平成 25 年度から令和元年度までに要した経費は 146 億円にのぼります。本年度が 15 億円で、来年度以降、昨年の台風 15 号災害の影響により先送りしました保育園の建設、そして大金沢の流域隣接等町道整備の継続、全天候型多目的広場整備、産業振興センター等の事業計画があり、これらを含めると町の通常予算の約 3 倍となります、200 億円に近い額となります。

令和 5 年度までの復興計画も、昨年の台風 15 号災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、延長せざるを得ません。

今後、計画を推進するためには、多額の財源が必要となりますが、先ほど申し上げましたとおり、財政調整基金等が底をつき、硬直した財政状況ですので、東京都の市町村総合交付金等の財政支援をお願いします。

最後に総括となりますが、これまで東京都に助力をいただきながら取り組んでまいりました感染を防ぐための乗船や搭乗時での検温等の水際対策、感染者や感染疑い者が発生した際の早急な輸送、受入体制の整備、診療所医師等、医療従事者の代替確保体制の整備、観光事業者等中小企業、農漁業者への経済的支援について、今後とも東京都と連携して取り組んでまいりたいと考えております。

一方で税収等の落ち込みにより、財政事情が厳しくなることが予想されることから、財政運営に支障が生じることがないように、市町村総合交付金の拡充等、適切な財政措置を講ずることを改めて強く要望しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。お願いします。

○**行政部長** どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○**知事** コロナは様々な課題を如実に表したわけではありますが、まず財政支援について、これまで複数回に渡り、コロナウイルス感染症に係る補正予算の措置をして、また、医療機関に対する支援を実施してきたところでもあります。

感染症に対応した感染拡大防止対策、それから診療体制の確保等についての費用の補助、引き続き医療機関の支援も行っています。

また、国に対しましても、通常の診療を含め医療提供体制が確実に維持されるように、医療機関の実状を踏まえた支援策の拡充の要望を国に対しても行っております。

人的支援でありますけれども、9月の時点で大島の方には事務職員や保健師、医師を派遣させていただいたりしてまいりましたが、都の応援職員、島しょ保健所出張所に派遣することで、島しょ地域における保健所の体制強化も図ってきたわけではありますが、更に診療所等において、医療従事者が濃厚接触等で一時的に医療機能の維持が困難となった場合を想定いたしますと、そういう場合には町の方と密接に連携しながら医師等の確保を支援してまいります。

それから、本土へ感染者を受け入れるわけですが、患者さんが発生した際に、町そして関係各局が連携をいたしまして、島しょ地域の感染症患者または感染しているかもしれない、そういう方の移送、収容を迅速に行っているところであります。

かつ、大規模クラスターが発生して、町の消防本部が担っている島の医療機関から空港、ヘリポートまでの陸上救急搬送に支障が生じた場合、そういう時も感染状況を踏まえながら、どの程度の規模の応援が予想されるか等、これらについても町とよく協議をして、必要な人的支援を行ってまいります。

コロナというのは非常に厄介な、取扱いも厳しいところであること、この間、私達は嫌と言うほど知らされました。

それらの対策については、引き続き島しょ地域の実情を踏まえながら、しっかりと支援をしていきたいと考えております。

多羅尾副知事の方からも加えさせていただきます。

○**副知事** それでは災害対応につきまして、私の方からお話させていただきたいと存じます。

大島町におかれましては、平成25年の台風の土砂災害からの復興に向けまして、神達地区の公園整備等、町の皆様が一丸となって取組を進められておられること。また、去年の台風15号による災害被害につきましても、全力で復旧復興に取り組まれているということを承っております。

一方で今のお話にもございました、既に150億円近い予算が投入されているということで、大変財政的にも大きな課題になっているということも承知いたしております。

都はこれまでも災害復旧・復興特別交付金等を活用しながら支援に努めてきたところがございますが、今後とも市町村総合交付金を活用する等、町の実情に則した効果的な災害

対応支援を努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○行政部長 それでは三辻町長、今のお話を受けて町長の方からいかがでしょうか。

○大島町長 まずコロナ関係ですけど、やはり大島、他の島も同様ですけど、診療所が1か所しかないの、また引き続き迅速な対応等をよろしくお願ひします。

それと今の島の現状ですか、若干触れさせてもらいます。

この4月から9月までの来島者数、前年と比較しますともう65%の減少、人数で7万8,000人の減少となっております。

仮に来島者一人当たり宿泊代や食事代、土産代、島内交通費と、大島に人が一人来れば1万9,000円ぐらい消費するというデータもあります。

これに当てはめて、あと島民等除きますと、やはり大島は12億円を超えるいわゆる消費損失額があった。

私としましては、もう来年度に向けて島の経済状況をどう立て直していくか、その辺も危惧しているところであります。引き続きまた財政支援等お願ひできればと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

それと復興事業につきましても、東京都の支援のお陰で今年度、図書館複合施設が来年早々オープンする予定で、あとメモリアル公園、これは今年度いっぱい工事が完了しまして、先般の土砂災害の追悼式を初めてメモリアル公園の慰霊碑前の屋外で行いました。今、慰霊碑の所だけ一部供用開始されるところです。

こういうことから、土砂災害復興事業につきましても、引き続き財政支援を願えればと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。以上です。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは最後に知事からお願ひをいたします。

○知事 御苦勞様でございます。

昨年は次から次へと台風が押し寄せてハラハラしたところでございますし、実際に多くの被害を出したところであります。

一方、今度は見えない、予測がつかないようなコロナ禍ということでございますけれども、今目下のニーズ、そして将来についてのビジョン等も若干聞かせていただきまして、ありがとうございます。

長期戦略の策定、来年度予算編成に当たっての施策、事業の検討に取り組んでいきたいと考えています。

これからいろいろ難局も多いかと思ひますけれども、ともに乗り越えていくように頑張っただけでまいりましょう。

今日はありがとうございました。

○大島町長 また引き続きよろしくお願ひします。

○知事 御苦勞様です。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日はどうもありがとうございました。